

大学院入学試験問題
(一般入試)

人文学 専攻

問題種別 専門試験

分野・専門 映像と守

試験科目 1/3 科目

問題は、問1と問2からなる。それぞれについて解答しなさい。解答スペースが足りない場合は、答案用紙の裏に記述してもよい。

問1

以下の(1)～(3)のうち、2つを選んで、それぞれ15～25行の範囲で解答しなさい。例に挙げる作品や理論はこの国・地域のもので構わない。

- (1) 近年、ナショナルな枠にとどまらないトランスナショナルな映像研究の必要性が広く唱えられてきている。それはどうしてなのか。映像作品または映像に関わる現象を一つ例に挙げ、具体的にその理由を説明しなさい。
- (2) 映像作品における物語とスタイル（技法）の関係はどのように考えることができるだろうか。映像作品を二つ例に挙げ、それらを比較しながら物語とスタイルの関係の捉え方について説明しなさい。
- (3) フェミニズムの映像研究にはどのような意義と問題点があるだろうか。一人の理論家の理論を例に挙げ、それに関して意義と問題点を説明しなさい。

問2

次の英文は、Ursula K. Heise, *Sense of Place and Sense of Planet: The Environmental Imagination of the Global* (Oxford University Press, 2008), pp. 22-24 からの抜粋（本文中の図版は省略）である。これを読んで続く問いに日本語で答えなさい。

著作権法で定められている公表された著作物を使用した入学試験問題に該当する箇所については、本Webページでの公衆送付について著作権者により許諾を得ていないため、これを削除し、出典名等を記載することとします。

大学院入学試験問題
(一般入試)

人文学 専攻

問題種別 専門試験

分野・専門 映像学

試験科目 2/3 科目

著作権法で定められている公表された著作物を使用した入学試験問題に該当する箇所については、本Webページでの公衆送付について著作権者により許諾を得ていないため、これを削除し、出典名等を記載することとします。

大学院入学試験問題
（一般入試）

人文学 専攻

問題種別 専門試験

分野・専門 映像学

試験科目 3/3 科目

問い

- (1) 1970年代の環境主義運動は「ブルー・プラネット」のイメージをどのように受け止めたか、著者は述べているか。わかりやすく説明しなさい。
- (2) 1987年に発表されたブルントラント・レポートに対して、著者は論理的矛盾と社会的な現状の2つの観点から問題点を指摘している。それぞれをわかりやすく説明しなさい。
- (3) 「ブルー・プラネット」のイメージが1970年代・1980年代に広く受け入れられた理由は結局何だと著者は述べているか。わかりやすく説明しなさい。
- (4) ラヴロックのガイヤ仮説に対する大衆的な受け止め方には、どのような問題があったか著者は述べているか。わかりやすく簡潔に説明しなさい。

【解答にあたっての注意】

- ◆ 専門試験は、次の2つからなる。
 - (1) 古代文化・文学 / 日本近現代文化・文学 / 表象文化に関する「文献解読」
 - (2) 古代文化・文学 / 日本近現代文化・文学 / 表象文化に関する「論述」

- ◆ 「文献解読」の問1～問3より 1つを選んで解答すること。

- ◆ 「論述」の問1～問3より 1つを選んで解答すること。

- ◆ 解答は問題ごとに別紙の答案用紙を用いること。解答スペースが足りない場合は、答案用紙の裏に記述してもよい。

大学院入学試験問題
（一般入試）

人文学 専攻
分野・専門 日本文化学

問題種別 専門試験
試験科目 日本古代文化・文学、日本近現代文化・文学、表象文化に関する文献解読

問1（日本古代文化・文学）

次の文章は『源氏物語』「賢木」巻の一節である。これを読んで（一）、（二）について答えなさい。

著作権法で定められている公表された著作物を使用した入学試験問題に該当する箇所については、本Webページでの公衆送付について著作権者により許諾を得ていないため、これを削除し、出典名等を記載することとします。

- (一) 傍線①の部分について具体的に説明しなさい。
- (二) 傍線②の部分で現代語訳しなさい。

大学院入学試験問題
（一般入試）

人文学 専攻

問題種別 専門試験

分野・専門 日本文学

試験科目 日本古代文化・文学、日本近現代文化・文学、表象文化に関する
文献解読

問2（日本近現代文化・文学）

次の文章は、伊藤整『小説の方法』（河出書房、1948.12）の一部である。

[1]・[2] について答えなさい。

[1] この文章の主旨を五行程度で要約しなさい。

[2] 以下からキーワードを一つ以上選択し、この文章を批評しなさい。首尾一貫した論述を行うこと。

逃亡奴隷 近代的自我 敗戦 ジェンダー 出版

著作権法で定められている公表された著作物を使用した入学試験問題に該当する箇所については、本Webページでの公衆送付について著作権者により許諾を得ていないため、これを削除し、出典名等を記載することとします。

大学院入学試験問題
（一般入試）

人文学 専攻

問題種別 専門試験

分野・専門 日本文学

試験科目 日本古代文化・文学、日本近現代文化・文学、表象文化に関する
文献解読

著作権法で定められている公表された著作物を使用した
入学試験問題に該当する箇所については、本Webページ
での公衆送付について著作権者により許諾を得ていない
ため、これを削除し、出典名等を記載することとしま
す。

大学院入学試験問題
(一般入試)

人文学 専攻

問題種別 専門試験

分野・専門 日本文化学

試験科目

日本古代文化・文学、日本近現代文化・文学、表象文化に関する
文献解読

問3 (表象文化)

次の二編の詩を評釈しなさい。類似点や相違点で特筆すべきものがあれば言及しなさい。

著作権法で定められている公表された著作物を使用した入学試験問題に該当する箇所については、本Webページでの公衆送付について著作権者により許諾を得ていないため、これを削除し、出典名等を記載することとします。

著作権法で定められている公表された著作物を使用した入学試験問題に該当する箇所については、本Webページでの公衆送付について著作権者により許諾を得ていないため、これを削除し、出典名等を記載することとします。

大学院入学試験問題
（一般入試）

人文学 専攻

問題種別 専門試験

分野・専門 日本文化学

試験科目

日本古代文化・文学、日本近現代文化・文学、表象文化に関する
論述問題

問1（日本古代文化・文学）

日本古典文学における中国の詩文の影響について、具体的な作品を挙げて論じなさい。

問2（日本近現代文化・文学）

次の[1][2]について答えなさい。

[1] 文学作品が空間と取り結ぶ関係には多様なものがあると考えられる。文学作品の側から空間を考えることもできれば、その逆も可能である。現実の空間との関係を分析することもできれば、仮想の空間の構築を考えることもできる。文学作品と空間との関係について具体的な事例を挙げ、10行程度で論述しなさい。

[2] 次に掲げた事項についてそれぞれ知るところを述べなさい。解答する事項の記号を各々必ず記すこと。

- a. 正岡子規
- b. 林芙美子
- c. GHQ占領と文学・文学者
- d. 本質主義と構築主義

問3（表象文化）

西洋、東洋、あるいは、西側、東側ということばはよく対にして使われる。この曖昧で多義的なことばの意味を説明しなさい。その際、お互いをどのように表象して来たのかという点について留意しなさい。

大学院入学試験問題
(一般入試)

人文学 専攻

問題種別 専門試験

分野・専門 文化動態学

問題 次の6問の中から2問を選んで解答しなさい。解答は下記の「解答上の注意」にもとづいて書きなさい。

解答上の注意

- ①解答は1問につき答案用紙1枚以内で書きなさい。
- ②答案用紙には必ず選択した問題番号を書きなさい。
- ③同一の答案用紙に複数の問題の回答を書いてはいけません。また答案用紙の裏面を使ってはいけません。

問1

時 (time)・場所 (place)・場面 (occasion)に応じて相応しい言動をとることいわゆるTPOをわきまえることは日常的にも普通に見られる事態である。しかしTPOについていつも普遍的な共通理解が成り立っているわけではなく、そのために摩擦や衝突が起こることも少なくない。このような対立の問題を、具体的な事例を対象にして考察しなさい。

問2

日本社会で最近よく耳にするようになった「ヘイト・スピーチ hate speech」「ヘイト・クライム hate crime」という表現は、1980年代のアメリカで、アフリカ系アメリカ人や性的マイノリティに対する殺人事件や、非白人や女性に対する差別問題が顕在化する中で生まれ、広まった。つまりそれらの表現は、ある個人が別の個人に憎悪を向けるという一般的状況を意味するのではなく、民族やエスニシティ、性などのマイノリティに対する差別を背景に持った行為として了解されている。

(1)「ヘイト・スピーチ」あるいは「ヘイト・クライム」に該当すると思われる事例を一つ、時代・国や地域に関わりなく自由に選び、(2)その事例を「ヘイト・スピーチ」あるいは「ヘイト・クライム」と見なしうる理由を述べると共に、(3)その事例が生まれた具体的な背景・要因を説明しなさい。

問3

グローバル化と伝統的な食文化の関係について、具体例を挙げて論じなさい。

問4

ラテンアメリカにおける諸言語の使用状況について、特定の国や地域の具体例を挙げて説明しなさい。

問5

地域研究や異文化でのフィールドワークにおいて、オリエンタリズム的視点をもつ問題性について、具体的な事例を挙げつつ自身の考えを論じなさい。

問6

日本人は日常生活の中でさまざまな外来語(およびその変容した形)を使用しています。これらの言葉が異文化受容にどのような影響を与えているか、具体例をまじえて考察しなさい。